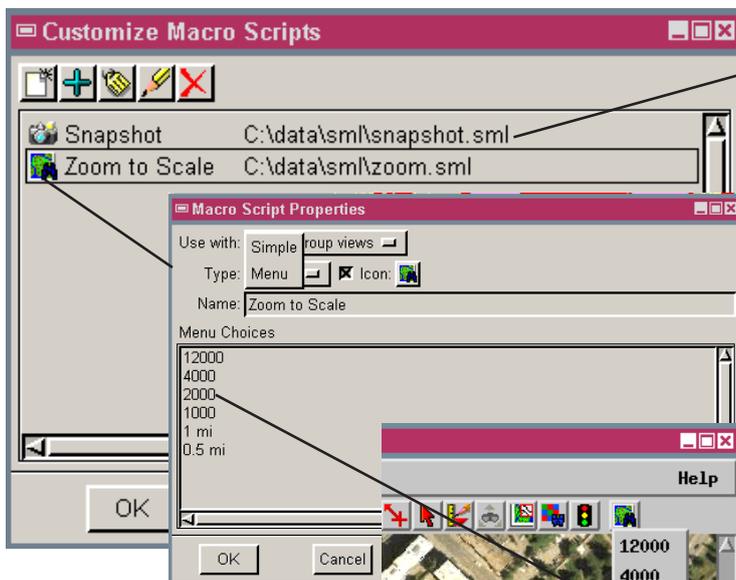


マクロスクリプト

ご存知でしたか?... SML マクロスクリプトを使うと、表示ウィンドウの地理データを自動処理できます。

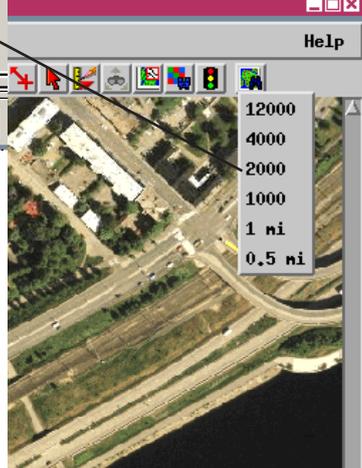
マクロスクリプトを使うことで...

- 表示ウィンドウのアイコンボタンからスクリプトを実行できます。
- アイコンボタンのドロップダウンメニューから、操作オプションを選択できます。
- 範囲、投影法、拡大など、表示レイヤに関する特性をコントロールできます。
- 表示ウィンドウのオブジェクトや同じ地理的エリアをカバーするオブジェクトを操作できます。
- 選択したデータを外部プログラムに渡すことができます。



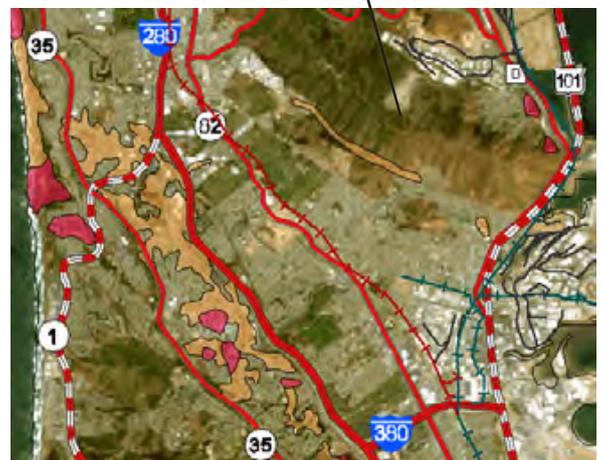
指定スケールへズーム

このサンプルマクロスクリプトは、ドロップダウンメニューから選んだ地図縮尺で表示ウィンドウを拡大します。



スナップショット

このサンプルマクロスクリプトは、ドロップダウンメニューから選んだファイル形式で表示ウィンドウのスナップショットを保存します。



マクロスクリプトを使う方法

- 表示ウィンドウで[オプション (Options)]>[スクリプト (Scripts)]>[マクロスクリプト (Macro Scripts)]を選択します。
- [追加 (Add)] アイコンボタンを押してスクリプトを選択します。
- または、[新規作成 (New)] アイコンを押して <SML> ウィンドウを開き、新規のマクロスクリプトを作成します。
- 自分のコードを入力して、操作内容を定義します。
- 単純なアイコンボタンにするか、メニューボタンにするか選びます。
- 必要であればメニューの選択肢のリストを入力します。
- 全ての表示ウィンドウのツールバーにスクリプトアイコンボタンが表示されます。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：
SML を使ったスクリプトの記述
(Writing Scripts with SML)

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp

